

方、「家族介護慰労事業」、「徘徊高齢者家族支援サービス」は、知らないが50%を超えている。

今後の意向については、「利用したい」が、「はりきゅうマッサージ施術費助成」、「訪問理容サービス」、「家族介護用品支給」で40%を超えており、「高齢者住宅資金貸付」や「シルバーパス」、「生活管理指導員派遣」は、30%を切っている。

また、サービスの充実と利用者負担については、「現状の程度でよい」が31.5%で最も多く、次いで「利用者負担や市費が増えても充実させるべき」が18.8%、「市の財政が苦しくなり利用者負担が増えるなら充実を望まない」は13.6%にとどまった。

(4) 地域支援事業・地域包括支援センターの認知度（問16～20）

地域包括支援センターを「知っている人」は28.2%、「知らなかった人」は53.4%で、認知度はまだ低いことがわかった。

日常生活上の悩みの相談相手も「同居の家族」、「別居の親族等」を選んだ人が多く、複数回答にもかかわらず、地域包括支援センターを選んだ人は2.4%にとどまった。

地域包括支援センターの介護予防教室についても「知っている」が19.7%、「知らなかった」が60.7%で、あまり知られていないようであるが、「介護予防教室を利用してみたい」という人は、「筋力維持強化」、「転倒予防等の教室」や、「物忘れを予防する教室」が30%を超えている。

成年後見制度については、「制度を知っている人」が44.5%で「知らない人」が40%となっており、制度自体の認知度は高まってきているが、制度は知っている人の約半数が地域包括支援センターで相談を行っていることを知らなかったと答えており、制度の周知に加え、地域包括支援センターの役割についても周知が必要と考えられる。

(5) その他、高齢者の生きがい、不安等の意識調査（問13～問15、問21、問22）

日常生活で一人でできずに困っていることが特にない人が51.1%となっており、回答者の約半数は、比較的自立していることがうかがわれる。

一人でできずに困っていることの上位は、「買い物」、「市役所への手続」、「外出」となっており、家の中のことはできても、外出して用事を足すことに困っている人が多いようである。

また、生きがいや楽しみとしては、「友人・知人との語らい」、「テレビ・ラジオ・新聞等」、「草木の世話や家庭菜園等」、「その他の趣味」、

「旅行」等が上位となっている。

将来の生活の在り方としては、「介護保険などのサービスを受けながら自宅で生活したい」という人が35.6%と最も多く、「家族などの介護を中心に自宅で生活したい」という人と合わせると、46.5%の人が自宅での生活を望んでいる一方、「施設に入所したい」という人は、20.1%であった。

行政に望むこととしては、「高齢者福祉サービスの充実」が54.5%、「介護保険サービスの充実」が42.4%となっているほか、「情報提供や相談体制の充実」、「防災・安全対策」、「団体・地域ぐるみの活動」を望む声がそれぞれ30%近くになっている。

また、その他高齢者福祉、介護保険、行政に対する意見・要望等の自由記載欄にも274件の記載があった。

- ① 高齢者福祉、介護保険に関しては、高齢者福祉、介護保険のサービスの充実を望む意見や、具体的なサービスの提案・要望のほか、制度の内容について情報提供を望む意見、介護保険料が高い、上げないでほしいといった意見など様々な記載があった。

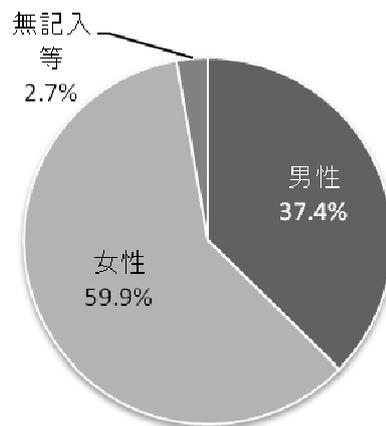
現在のサービスに対する感謝や、負担増であればサービスの充実は望まないという意見もあったが、現在のサービス、介護保険料に対する不満、利用したい時にサービスが利用できるか、年金だけで生活していけるかといった不安を感じている意見が多くみられた。

- ② 高齢者福祉、介護保険以外では、後期高齢者医療制度など医療に関する意見や、年金に関する意見、市政全般や職員対応に関する意見、このアンケートに関する意見など様々な記載があった。

能代市老人福祉計画・介護保険事業計画アンケート集計結果

問1 あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

男性	328
女性	525
無記入等	24
計	877



問2 あなたの年齢について、あてはまる番号に○をつけてください。

65歳～69歳	184
70歳～74歳	251
75歳～79歳	186
80歳以上	242
無記入等	14
計	877

